

2-3 職場体験の計画

進路情報

1. 題材設定の理由

1年生で身近な人々の職業について学習した。また、2-1では、働くことの目的と意義について学習した。しかし、実際に職場を訪問したり、仕事を体験したりすることは少ないと思われる。そこで、実際に自分で職場へ行き、「働く」体験をすることは、今後の進路計画を立てる上で大変参考になるとと思われる。

この数年、地域の企業の協力を得て、職場体験を計画する学校が増えてきた。また、夏休みの機会を利用して、身近な職場へ行き、体験していただくことも可能である。そういった機会を価値あるものとするために、本時を設定した。

2. 指導のねらい

職場体験の意義を理解させ、価値ある職場体験になるように計画を立てさせることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・働くことにはどんな苦勞や喜びがあるか、事前に考えさせておく。 1年生や2-1で学習したことを思い出させる。
本時	・実際に自分で体験することがいかに価値があるかを理解させ、職場体験に真剣に取り組もうとする意欲を育てる。
事後	・職場体験の具体的な計画を進めていく。事前調査を行う。2-4を利用する。

<説話例>

今までみなさんは、職業・進路についてのいろいろな学習を続けてきました。働くことの喜びや苦勞についても、2-1の授業で学習しました。しかし、実際に職場で働いた経験のある人は、ほとんどいないと思います。今回の職場体験は、そんなみなさんに「働く」とはどんなことなのか、少しでも理解を深めてもらうために、多くの人の好意で実施される行事です。この機会を大切に、自分の進路決定の参考となるよう、頑張ってお習し

てきてください。実は先生も、教育実習を経験して改めて「先生になりたいな」と決意をしました。ぼんやりと先生はこんな仕事だなと思っていたことと、実際に経験したことは、かなり差がありました。先輩の先生方の姿や自分が実習したこと、大変な仕事だということややりがいのある仕事だということを実感しました。価値のある職場体験になるよう、頑張りました。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの働くことについてのとらえ方と、実際との間に違いがあることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎働くことには、どんな喜びや苦勞があるか考え、交流する。 ・喜び-お金がもらえる。物が作れる。やりがいがある。お客様に喜んでもらえる。人の役に立つ。 ・苦勞-えらい。休みが少ない。休めない。責任がある。 ◎家族の仕事場などで、実際に「働く」という経験をしたことのある生徒がいるか聞き、もしあればその時の感想を発表する。 ・楽そうに思っていたけど、すぐくえらかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきたこと、2-1で学習したことと関わらせて考えさせる。 ・見学した時の様子や聞いた話を思い起こさせてもよい。必要なら、初めて勤めた時の感想など、教師から補足する。 	
	課題：職場体験の意義を考えた上で、価値ある職場体験になるように計画を立てよう。			
中心の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験によって得られる価値について理解することができる。 ・自分は、職場体験にどのように取り組むのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎P.28の資料を読んで、I さんが職場体験で学んだことについてP.29①に記入し、考えを交流する。 ・仕事をするとは、本当にえらい。 ・簡単そうでも、実際にやってみるとすごく大変だ。 ・あいさつやそうじが大切である。 ・仕事をするとは、自分で責任を取らないといけない。 ・毎日、たまえなく仕事があり、何日も何日も続けていく努力が必要だ。 ◎職場体験で、何を学んできたのか、思いをP.29②に記入し交流する。 ・仕事の内容 ・仕事に必要な適性や資格 ・仕事をする時に気をつけていること、工夫していること ・仕事の喜びや楽しさ ・仕事の苦勞やつらさ ・勤務時間と休日 ・収入 ・どんな力が求められるのか ◎職場体験で質問したいことをP.29③に記入して班で交流し、まとめる。 ◎職場体験をするうえでの約束やマナーをP.29④で記入し、交流し、まとめる。 ・時間を守り、あいさつもきちんとする。 ・ふざけなくて真剣に取り組む。 ・まわりの人の迷惑にならないように、一生懸命仕事をする。 ・アルバイトではなく、好意で体験させてもらっているの、会社の人に感謝の気持ちをもつ。 ・社会の一員として行動し、接客態度に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験したからこそ理解できることであることに気づかせる。 ・一人一人がどんなことを学んできたのか、進路希望と関連させて明確にさせる。 ・多くの人の好意で実施されることを確認し、感謝の気持ちをもって臨むよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.28資料「多くのことを学んだ職場体験学習」 ・P.29① ・P.29② ・P.29③ ・P.29④
まとめの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・価値ある職場体験にするための決意をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分は職場体験にどのような決意で臨むのか、明確にする。 ・自分の進路決定の参考とするために、真剣に参加する。 ・働くとはどんなことなのか、しっかり学んでくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験をさせていただく職場に失礼のないように、授業展開P.65の「職場体験資料」の電話・あいさつ・手紙・言葉づかいの例を参照する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業展開P.65の「職場体験資料」参照